

- ・19日、災害救助法の弾力的運用に関する通達を発出。県域を越えた避難についても災害救助費等負担金の国庫負担の対象となること等、各自治体からの問い合わせの多い事項について運用を明確化。【厚生労働省】

3. スクリーニングの実施

- ・福島県からの身体汚染スクリーニング等対応のための医師等の派遣斡旋の要請を受け、順次、医師等を派遣。【文部科学省、厚生労働省】

4. 物資の調達

- ・19日、福島県・現地連絡対策室から緊急対策本部及び原子力災害対策本部に対して、原子力発電所周辺（12カ所のうち1カ所が20～30km圏内。その他は30km圏外）の住民向けのガソリン等計600klについて支援要請あり。20日16時現在、全量を確保し、200klについて配送手配済み。【経済産業省】
- ・被災者向けの食料品の調達。【農林水産省】
- ・屋内退避圏内への配送を実施予定。【防衛省】

5. 気象データの提供

- ・福島第一・第二原子力発電所周辺の気象の見通し等に関する気象支援資料をホームページで公開している他、関係機関にFAX等により情報提供。【気象庁】
- ・福島第一原子力発電所から半径30kmの領域に対し、空域気象情報（シグメット情報）の提供を開始。（3月17日～）【気象庁】

- ・経済産業省緊急時対応センター（E R C）や福島県庁に職員を派遣し、気象に関する情報提供や解説活動を実施。【気象庁】

カネコ 室長 << 避難安全班 (11/15)

政府としての屋内退避区域関連の支援内容

平成23年3月21日
原子力災害現地対策本部

1. 病院、特別養護施設等への支援

病院、特別養護施設等の入院患者、入居者について、福島県と協力都県間のマッチングを行い、順次、搬送を進めている。(警察庁、消防庁、厚生労働省、海上保安庁、防衛省)

- ・病院については、6病院、要搬送者数約700人のうち約600人の搬送が20日までに完了。
- ・特別養護施設等については、18施設、定員約980人のうち約790人の搬送が20日までに完了。

2. 一般の住民の方の自主避難への支援

屋内退避区域在住の住民の方の自主避難について、移動手段、受入先の確保のための支援を行っている。

- ・福島県等の被災県からの県外避難者の宿泊が可能な施設について、名称・施設数及び受入可能者数等を取りまとめ、福島県等に情報を提供。(内閣府、国土交通省、各府省)

受入可能数：約2,500施設、約4万6千戸

- ・ 19日、災害救助法の弾力的運用に関する通達を発出。県域を越えた避難についても災害救助費等負担金の国庫負担の対象となること等、各自治体からの問い合わせの多い事項について運用を明確化。(厚生労働省)
- ・ 自衛隊バス車両を用いて移動を支援。(防衛省)

3月18日から20日に、南相馬市から2,580人、飯館村から511人が福島県外へ移動。

3. 物資の支援

福島県からの具体的な物質支援要請に基づき、屋内退避区域に関する支援を実施している。

- ・ 住民向けのガソリン等(約600kl)の支援要請あり。全量確保済みであり、20日中に、200klを供給できるよう手配済み。(経済産業省、防衛省)

4. スクリーニングへの支援

福島県からの身体汚染スクリーニング等対応のための医師等の派遣斡旋の要請を受け、順次、医師等を派遣。(文部科学省、厚生労働省、)

- ・避難区域からの避難者、屋内退避区域からの自主的移動者、その他希望者について、県の体制を支援。

福島県 松本 岩男 松本 野村部 ← 福島県 東

福島第一原子力発電所 20 km—30 km圏内の住民の動き 2 (メモ)

(平成 23 年 3 月 21 日)

福島第一原子力発電所から半径 20 km—30 km圏は、3 月 15 日 (火) に「屋内退避」の指示区域となり、以後、次のような住民の動きがあるところ。

1 人口について

今回の原発事故以前には、20 km—30 km圏の人口は、約 12 万 8 千人であった。

特に、3 月 15 日 (火) 以降、自主避難が進み、現在は、約 2 万人程度 (県推計) となっている。

2 避難所について

3 月 15 日 (火) 時点では、20 km—30 km圏において、避難所 59 カ所・避難者約 1 万 2 千人がいたところ。

3 月 21 日 (月) 時点では、南相馬市において、避難所 2 カ所・避難者 74 人が残存しているのみ。これらの避難所については、食料等の物資の輸送は自衛隊が担っているところ。

3 病院や社会福祉施設について

① 病院

今回の原発事故以前には、20 km—30 km圏において、7 病院が存在し、入院者約 890 人。

3 月 21 日 (月) は 2 病院・86 人を搬送し、これをもってすべての入院者の搬送が終了した。

② 社会福祉施設

今回の原発事故以前には、20 km—30 km圏において、20 施設が存在し、入所者 1, 046 人。

3 月 21 日 (月) は 2 施設・123 人を搬送し、これまでの県外への搬送済みの施設・入所者は 18 施設・985 人となり、残る 2 施設・61 人は、22 日 (火) に県外搬送予定。

(以 上)

内閣官房より提供. 220109

24. 幹 ← 11
11
11

Y07

[郵便番号]
[住所]
[電話番号]
[FAX番号]
[URL]

福島政府現地連絡対策室
(福島県災害対策本部保安院リエゾン)

FAX

送付先: ERC 総括班 発信元: 福島政府現地連絡対策室
OFC 総括班 (福島県災害対策本部保安院リエゾン)

FAX 番号: [REDACTED] (ERC) 送付枚数: 本紙とF 17枚
[REDACTED] (OFC)

電話番号: [REDACTED] (ERC) 日付: 3月20日(日)11:40
[REDACTED] (OFC)

件名: 【参考】福島県災害対策本部議事メモ 配布先:

至急 ご参考まで ご確認ください ご返信ください ご回覧ください

● 連絡事項:

本日、10:00から開催された福島県災害対策本部会議の議事メモを参考までFAXします。

経済産業省
番号 201309

2F、朝 ← Y07

本部

上

X

2/17

福島県災害対策本部会議（速報メモ）
（平成 23 年 3 月 20 日 10:00～10:30）

○保安院より検査課 館内班長がオブザーバーとして出席

○会議による主な報告事項

- ・20キロ～30キロ圏内の自主退避について、国と県のスキームに基づく30km圏外への自主避難は本日、飯館村230人が栃木に、南相馬500人が新潟に向かう予定。飯館村と南相馬は、本日で完了予定。
- ・医療機関の避難について、20km～30km圏内に7つの施設のうち残り4つの施設の避難を本日実施予定。ただし、遅れ気味。
- ・県職員を75か所の避難所に派遣し対応している。
- ・放射線に関する問い合わせ窓口の利用状況としては、3月19日は問い合わせ320件。
- ・県外への避難所については、連絡体制を確立し情報を把握すること。
- ・環境モニタリングについては、福島市は $10 \mu\text{Sv/h}$ を下回り低下傾向。飯館村は $20 \mu\text{Sv/h}$ を超え横ばい状況。
- ・飲料水環境放射能測定結果、3月19日18時放射性よう素 24Bq/kg 低下傾向。QFC測定結果が県に情報提供されず、厚生労働省に報告された。今後、事前の連携をしっかりとし、情報共有を行う。
- ・知事訓示 しっかり対応してほしい。

以上

3/17

平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報 (第52報)

平成23年3月20日(日) 8時00分現在
福島県災害対策本部

1 警報等発表状況

- 3月11日 14:46 震度6強: 白河市、須賀川市、二本松市、富岡町、大熊町、浪江町、鏡石町、楢葉町、双葉町、新地町
- 震度6弱: 郡山市、桑折町、国見町、川俣町、西郷村、矢吹町、中島村、玉川村、小野町、棚倉町、伊達市、広野町、淡川町、田村市、いわき市、川内村、飯館村、相馬市、南相馬市、猪苗代町
- 震度5強: 福島市、大玉村、天栄村、泉崎村、矢祭町、平田村、石川町、本宮市、三春町、葛尾村、古殿町、会津若松市、会津坂下町、喜多方市、湯川村、会津英里町、磐梯町
- その他県内全域で震度5弱～を観測
- 3月12日 14:49 津波警報(大津波)発表
- 3月12日 20:20 津波警報(津波)へ切り替え
- 3月13日 7:30 津波注意報へ切り替え
- 17:58 津波注意報解除

2 県・市町村の体制(災害対策本部等設置状況)

(1) 県

- 3月11日 14:46 災害対策本部設置
- 14:46 水防本部設置
- 14:46 警察本部災害警備本部設置

(2) 市町村

災害対策本部設置: 42市町村(詳細別紙) 水防本部設置: 集計中

3 避難(完了)の状況 詳細別紙

計 26,037人 (浪江町17,793人、富岡町15,480人、大熊町11,363人ほか)

4 被害の状況 詳細別紙

(1) 人的被害

- 死者 594人 (南相馬市214人、いわき市189人、相馬市105人、新地町52人ほか)
- 行方不明者 1,690人 (南相馬市1,260人、浪江町270人、新地町111人ほか)
- 重傷者 144人 (相馬市68人、南相馬市48人ほか)
- 軽傷者 69人 (福島市19人ほか)

(2) 住家被害 詳細別紙

- | | | | |
|------|---------|---------|--------|
| 全壊 | 1,061棟 | 120世帯 | 1,422人 |
| 半壊 | 1,195棟 | 316世帯 | 61人 |
| 一部破損 | 12,002棟 | 4,328世帯 | 1,886人 |
| 床上浸水 | 120棟 | 0世帯 | 0人 |
| 床下浸水 | 0棟 | 0世帯 | 0人 |
- ※集計に含んでいないが、南相馬市で1,800棟以上が半壊以上(状況調査中)

(3) 非住家 詳細別紙

- 公共建物 575棟 (福島学院大(福島市瀬上) 2階つぶれほか)
- その他 1,363棟

5 消防職員の出動延人数

- 消防隊員 6,060人
- 消防団員 4,104人

6 その他

- (1) 鉄道 東北新幹線 県内運転見合わせ(終日)
- 在来線 全線で県内運転見合わせ(終日)

(2) 一般道路 詳細別紙

- 主要国道 国道6号(広野町大字下北迫など) 計10箇所で開催止め
- 国道4号(福島市伏拝)は、3月18日18時より片側1車線の対面通行で暫定開放
- 一般国道 国道118号など 9箇所で開催止め
- 県道 白河羽鳥線など 80箇所で開催止め
- 農林道 林道花塚線など 7箇所で開催止め

(3) 高速道路 県内全線一般車両通行止め

(4) その他

- 停電 浜通りの一部で38,092戸
- 高速バス 運行再開した路線は以下のとおり
福島～郡山、福島～いわき、福島～仙台、福島～新宿、郡山～会津若松、郡山～いわき、郡山～新潟、郡山～磐梯塩原、郡山～新越谷、郡山～新宿、会津若松～新潟(野沢含む)、いわき～東京
- NTT回線 浜通りで不通箇所多数あり 避難所54箇所に計144回線の特設公衆電話(無料)設置
- 都市ガス 県内12,241戸で供給停止
- 水道 福島市など196,151戸で断水

4/17

2: 県・市町村の体制

報数	県	災害対策本部				水防本部(河川港湾総室)			
		設置等日時		解散等日時		設置等日時		解散等日時	
1	福島県	3月11日	14:46			3月11日	14:46		

報数	市町村名	災害対策本部				水防本部			
		設置等日時		解散等日時		設置等日時		解散等日時	
	福島市	3月11日	14:50						
19	二本松市	3月11日							
18	伊達市	3月11日	15:00						
43	国見町	3月11日	17:00						
42	桑折町	3月11日							
42	川俣町	3月11日	15:00						
20	郡山市	3月11日							
20	須賀川市	3月11日	14:50						
20	田村市	3月11日	16:00						
20	雫石町	3月11日	15:00						
20	天栄村	3月11日	15:50						
20	石川町	3月11日	15:00						
20	玉川村	3月11日	16:15						
20	平田村	3月11日	15:00						
20	浅川町	3月11日	15:00						
20	古殿町	3月11日	14:50						
20	三春町	3月11日	15:30						
20	小野町	3月11日	17:45						
19	白河市	3月11日							
24	西郷村	3月11日							
19	泉崎村	3月11日							
19	中島村	3月11日							
19	矢吹町	3月11日							
19	棚倉町	3月11日							
24	矢祭町	3月11日		3月12日	17:00				
19	瑞町	3月11日							
19	鮫川村	3月11日		3月12日	16:00				
18	会津若松市	3月11日	14:53						
18	喜多方市	3月11日	14:49						
18	惣持町	3月11日	15:18						
18	猪苗代町	3月11日	15:00						
23	会津坂下町	3月11日	16:00						
18	湯川村	3月11日	15:30						
18	柳津町	3月11日	15:00						
18	会津美里町	3月11日	16:00						
36	相馬市	3月11日	14:55						
36	南相馬市	3月11日	15:00						
36	広野町	3月12日	9:00						
36	楢葉町	3月12日	14:00						
36	川内村	3月11日	16:15						
36	碓尻村	3月11日	15:00						
36	新地町	3月11日	14:50						
36	飯館村	3月11日	14:55						
34	いわき市	3月11日	14:50						
	市町村数	44		2		0		0	

5/17

3. 避難(完了)の状況

区分	市町村名	地区	人数	備考
避難指示	福島市			80世帯、人数調査中
	須賀川市		1	
	田村市		289	
	楢葉町	波倉ほか	7,800	精査中
	富岡町	新夜ノ森ほか	15,480	精査中
	川内村		239	精査中
	大熊町		11,363	精査中 なお、町から報告があった避難者数は4,600人
	双葉町		7,243	精査中 なお、うち1,100人がさいたま市へ移動
	浪江町	請戸ほか	17,793	精査中
	新地町		2,108	精査中
計		62,316		

区分	市町村名	地区	人数	備考
避難勧告	郡山市		13	
	須賀川市		18	
	白河市		111	
	葛尾村		105	
計		247		

区分	市町村名	地区	人数	備考
自主避難	福島市		1,081	(+原発避難者4,440人)
	二本松市		42	避難所23箇所 (+原発避難者3,011人)
	伊達市		7	避難所8箇所 (+原発避難者961人)
	本宮市		31	避難所3箇所 (+原発避難者157人)
	国見町		143	避難所3箇所 (+町外から受入れ41人)
	桑折町		0	避難所2箇所 (+町外から受入れ101人)
	川俣町		11	避難所6箇所 (+原発避難者589人)
	大玉村		0	避難所1箇所 (+原発避難者等89人)
	郡山市		2,601	避難所64箇所 (+原発避難者2,121人)
	須賀川市		911	避難所16箇所 (+原発避難者等535人)
	田村市		298	避難所10箇所 (+原発避難者等3,806人)
	鏡石町		84	避難所3箇所 (+原発避難者等28人)
	天栄村		0	避難所1箇所→0箇所
	石川町		0	避難所1箇所 (+原発避難者331人)
	玉川村		1	避難所1箇所 (+原発避難者128人)
	平田村		0	避難所1箇所 (+原発避難者133人)
	浅川町		0	避難所1箇所 (+原発避難者100人)

6/17

自主避難	古殿町		0	避難所1箇所 (+原発避難者181人)
	三春町		0	避難所8箇所 (+原発避難者802人)
	小野町		2	避難所1箇所 (+原発避難者等488人)
	白河市		195	避難所4箇所 (+市外から受入れ147人)
	西郷村		0	避難所3箇所 (+原発避難者等814人)
	泉崎村		17	避難所2箇所 (原発避難者等12人)
	中島村		1	避難所1箇所 (+原発避難者等59人)
	矢吹町		161	避難所3箇所 (+原発避難者等81人)
	棚倉町		5	避難所2箇所 (+原発避難者54人)
	矢祭町		0	避難所1箇所 (+原発避難者等58人)
	塙町		0	避難所2箇所 (+原発避難者等132人)
	紋川村		0	避難所1箇所 (+村外から受入れ23人)
	会津若松市		16	避難所9箇所 (+市外から受入れ1,441人)
	喜多方市		0	避難所1箇所 (+市外から受入れ345人)
	北塩原村		0	避難所1箇所 (+原発避難者17人)
	西会津町		0	避難所1箇所 (+町外から受入れ70人)
	磐梯町		0	避難所1箇所 (+町外から受入れ140人)
	猪苗代町		2	避難所3箇所 (+原発避難者等841人)
	会津坂下町		0	避難所3箇所 (+町外から受入れ543人)
	湯川村		0	避難所2箇所 (+原発避難者等133人)
	会津美里町		0	避難所4箇所 (+町外から受入れ744人)
	相馬市		4,078	
	南相馬市		5,713	精査中
	広野町		952	
	富岡町		1,800	ともに郡山市のビッグパレットふくしまへ移動(内訳精査中)
	川内村			
	葛尾村		35	(+原発避難者135人)
	飯館村		0	避難所1箇所 (+村外から受入れ201人)
計		18,187		

区分	市町村名	地区	人数	備考
不明	いわき市		5,287	避難所150箇所
	計		5,287	

合計			86,037	
----	--	--	--------	--

17/07

4 被害の状況

(1)人的被害

区分	報数	市町村名	被害数 (人)	地区名	被害者		発生時刻	原因	被害の状況 (自傷箇所等)
					年齢	性別			
死者	14	福島市	1						
	36	須賀川市	8						
	47	白河市	14						
	27	会津若松市	1						
	40	相馬市	103						
	52	南相馬市	214						特別要護施設ほか
	38	広野町	2						
	48	楢葉町	3						
	7	水戸町	2						
	48	大原町	1					田村市へ避難中に心臓 マヒにより死亡	
	16	双葉町	1						
52	新地町	52							
51	いわき市	189					火災他		
計			594						

行方不明者	36	須賀川市	2	旧長沼町北町、荒 ぼか				荒沼決壊ほか	自衛隊派遣要請
	47	白河市	1	荒/不平、大伝染沢 ほか				土砂崩れ	
	52	南相馬市	1,200						
	39	広野町	1						
	21	楢葉町	10						前原地区5棟
	21	水戸町	8						
	19	大原町	8						
	42	双葉町	14						
	52	浪江町	270	棚塩(平場)、新戸 中浜地区					
	41	葛尾村	1						
52	新地町	111							
51	いわき市	4							
計			1,690						

家族者	52	国見町	20						経路調査中(内訳は編 査中)
	28	田村市	1						
	25	天栄村	2						
	23	矢吹町	1						
	37	南会津町	1						
	21	相馬市	88						詳細調査中
	18	南相馬市	48						
	10	楢葉町	1						
	18	大原町	2						詳細調査中
計			144						

軽傷者	46	福島市	19						
	13	伊達市	2						
	52	国見町	0						20-0(要保護及び疑 者を合わせた数のた め、「要保護」の欄に転
	34	森野町	1						
	38	田村市	4						
	11	帆石町	2						
	18	天栄村	1						
	30	石川町	1						
	32	茨川村	3						
	14	浅川町	3						
	18	三登町	2						
	20	白河市	2						
	18	西郷村	4						
	45	矢吹町	6						
	27	会津若松市	8						
	7	猪苗代町	1	名古原町	79	女	3月11日14:55頃	潮島の落下	頭部軽傷
	10	会津坂下町	1						
	10	会津美里町	1						
	10	楢葉町	3						
	19	川内村	1						
	6	双葉町	1						詳細調査中
	14	新地町	2						詳細調査中
	50	双葉町	1						
計			69						

10月避難者セト板
確認していくたかも。 福島 ← ERC

福島第一原子力発電所 20～30km 圏 (屋内退避区域)
内の住民の自主避難及び生活に対する国の支援に
ついて (3月21日 18:00 現在)

平成 23 年 3 月 22 日

原子力災害対策本部 事務局

- ・ 屋内退避区域内の市町村数 9 市町村
(9 市町村とも、市町村の区域の一部が屋内退避区域)
- ・ 屋内退避区域内の人口 66,178 人
(2005 年国勢調査の 1 km メッシュデータ)
- ・ 屋内退避区域内の在住者数 (3月19日現在の情報)
南相馬市 (屋内退避区域内人口 47,689 人)、いわき市 (同
4,860 人)、田村市 (同 3,229 人) は相当数の可能性あり。
他の 6 町村は、それぞれ、0～50 人程度の模様。

1. 病気、介護が必要な方への自主避難への支援

・ 入院患者

屋内退避区域内の病院の入院患者について、福島県と協
力都県間のマッチングを行い、搬送手続きを進めている。

6 病院、要搬送者数約 700 人の搬送が 3月21日ま
でに終了した。【厚生労働省】

・ 介護施設入居者等

屋内退避区域内の特養、老健施設などの入居者について、
福島県と協力都県間のマッチングを行い、搬送手続きを進
めている。

18 施設、定員約 980 人のうち、3月21日までに約

920人を搬送（ご家族で対応された方を含む）。

残る約60人については、既に搬送先が決まっており、3月22日以降搬送予定。【厚生労働省】

- ・ 3月17日から21日に25施設1417名について屋内退避区域の病院・施設等からの搬送を実施。【警察庁、消防庁、海上保安庁、防衛省】

2. 一般の住民の方の自主避難への支援

(1) 受入施設の情報

- ・ 19日、福島県等の被災県からの県外避難者の宿泊が可能な施設について、名称・施設数及び受入可能者数等を取りまとめ、福島県等に情報を提供。【内閣府、国土交通省、各府省】

受入可能数：約2,500施設、約5万戸

- ・ 18日、各都道府県の被災者受入態勢・状況について、ホームページで公表。【総務省】

(2) 移動手段の確保

- ・ 福島県の要請を受け、避難住民のスクリーニング等のための高速道路のパーキングエリアの提供及び域外に移動した住民がさらに圏外へ移動する際の民間バスの手配について、福島県等に必要な情報を提供するための連絡体制を整備。【国土交通省】

- ・ 自衛隊バス車両を用いて一部の移動を支援。【防衛省】

- ・ 福島県警等による移動の支援【警察庁】

- ・ 3月18日から20日に、南相馬市から2,580人、飯舘村から511人が福島県外へ移動

(3) 受入先自治体に対する援助

- ・ 19日、災害救助法の弾力的運用に関する通達を発出。県域を越えた避難についても災害救助費等負担金の国庫負担の対象となること等、各自治体からの問い合わせの多い事項について運用を明確化。【厚生労働省】

3. スクリーニングの実施

- ・福島県からの身体汚染スクリーニング等対応のための医師等の派遣斡旋の要請を受け、順次、医師等を派遣。【文部科学省、厚生労働省、経済産業省】

4. 物資の調達

- ・ 19日、福島県・現地連絡対策室から緊急対策本部及び原子力災害対策本部に対して、原子力発電所周辺（12カ所のうち1カ所が20～30km圏内。その他は30km圏外）の住民向けのガソリン等計600klについて支援要請あり。既に全量を確保し、このうち21日中までに計380klを配送（20日に計220kl配送済み、21日に計160kl配送）。その他の生活物資も調達。【経済産業省】
- ・被災者向けの食料品や医薬品の調達。【農林水産省、厚生労働省】
- ・全日本トラック協会の協力を得て、屋内退避区域のための物資の周辺拠点への配送を支援。【国土交通省】
- ・屋内退避区域内への配送の一部を支援。【警察庁、防衛省】

5. 住民に対する情報の提供

- ・報道機関への資料配付・説明を通じて住民に対する情報を発信。【関係府省庁】
- ・屋内待避区域に係る市町村の災害対策本部を通じて情報提供を実施。【現地対策本部】
- ・福島第一・第二原子力発電所周辺の気象の見通し等に関する気象支援資料をホームページで公開している他、関係機関にFAX等により情報提供。【気象庁】

福島第一原子力発電所 20～30km 圏 (屋内退避区域)
内の住民の自主避難及び生活に対する国の支援に
ついて (3月 22日 12:00 現在)

平成 23 年 3 月 22 日
原子力災害対策本部 事務局

- ・ 屋内退避区域内の市町村数 9 市町村
(9 市町村とも、市町村の区域の一部が屋内退避区域)
- ・ 屋内退避区域内の人口 66,178 人
(2005 年国勢調査の 1 kmメッシュデータ)
- ・ 屋内退避区域内の在住者数 (3月 19日現在の情報)
南相馬市 (屋内退避区域内人口 47,689 人)、いわき市 (同
4,860 人)、田村市 (同 3,229 人) は相当数の可能性あり。
他の 6 町村は、それぞれ、0～50 人程度の模様。

1. 病気、介護が必要な方への自主避難への支援

・ 入院患者

屋内退避区域内の病院の入院患者について、福島県と協
力都県間のマッチングを行い、搬送手続きを進めている。

6 病院、要搬送者数約 700 人の搬送が 3月 21日まで
に終了した。【厚生労働省】

・ 介護施設入居者等

屋内退避区域内の特養、老健施設などの入居者について、
福島県と協力都県間のマッチングを行い、搬送手続きを進
めている。

18施設、定員約 980 人のうち、3月 21日までに約

920人を搬送（ご家族で対応された方を含む）。

残る約60人については、既に搬送先が決まっており、
3月22日に搬送終了。【厚生労働省】

- ・3月17日から21日に25施設1417名について屋内退避区域の病院・施設等からの搬送を実施。【警察庁、消防庁、海上保安庁、防衛省】

2. 一般の住民の方の自主避難への支援

(1) 受入施設の情報

- ・19日、福島県等の被災県からの県外避難者の宿泊が可能な施設について、名称・施設数及び受入可能者数等を取りまとめ、福島県等に情報を提供。【内閣府、国土交通省、各府省】

受入可能数：約2,500施設、約5万戸

- ・18日、各都道府県の被災者受入態勢・状況について、ホームページで公表。【総務省】

(2) 移動手段の確保

- ・福島県の要請を受け、避難住民のスクリーニング等のための高速道路のパーキングエリアの提供及び域外に移動した住民がさらに圏外へ移動する際の民間バスの手配について、福島県等に必要な情報を提供するための連絡体制を整備。【国土交通省】
- ・自衛隊バス車両を用いて一部の移動を支援。【防衛省】
- ・福島県警等による移動の支援【警察庁】
- ・3月18日から20日に、南相馬市から2,580人、飯舘村から511人が福島県外へ移動

(3) 受入先自治体に対する援助

- ・ 19日、災害救助法の弾力的運用に関する通達を発出。県域を越えた避難についても災害救助費等負担金の国庫負担の対象となること等、各自治体からの問い合わせの多い事項について運用を明確化。【厚生労働省】

3. スクリーニングの実施

- ・福島県からの身体汚染スクリーニング等対応のための医師等の派遣斡旋の要請を受け、順次、医師等を派遣。【文部科学省、厚生労働省、経済産業省】

4. 物資の調達

- ・ 19日、福島県・現地連絡対策室から緊急対策本部及び原子力災害対策本部に対して、原子力発電所周辺（12カ所のうち1カ所が20～30km圏内。その他は30km圏外）の住民向けのガソリン等計600klについて支援要請あり。既に全量を確保し、このうち21日中までに計380klを配送（20日に計220kl、21日に計160kl配送済み）。【経済産業省】
- ・被災者向けの食料品や医薬品、その他の生活物資の調達。【農林水産省、厚生労働省、経済産業省】
- ・全日本トラック協会の協力を得て、屋内退避区域のための物資の周辺拠点への配送を支援。【国土交通省】
- ・屋内退避区域内への配送の一部を支援。【警察庁、防衛省】

5. 住民及び国民一般に対する情報の提供

- ・報道機関への資料配付・説明を通じて住民に対する情報を

発信。【関係府省庁】

- ・屋内待避区域に係る市町村の災害対策本部を通じて情報提供を実施。【現地対策本部】
- ・福島第一・第二原子力発電所周辺の気象の見通し等に関する気象支援資料をホームページで公開している他、関係機関にFAX等により情報提供。【気象庁】

6. 現地からの要望と対応

- ・原子力災害現地対策本部及び福島県は、地方自治体からの要請事項を収集し、現地で対応するとともに、必要な事項については政府の原子力災害対策本部に対応を要請する。
(別紙参照)
- ・要請を受けた政府の原子力災害対策本部事務局は、緊急災害対策本部の初動対応チーム(官邸危機管理センター)と緊密な連携を図り、被災者生活支援特別対策本部事務局の協力を得て、必要な対応を行う。

ERC 22年2月 下内 ← ERC 高内

避難指示及び屋内退避区域内の残留者数について

平成23年3月25日現在

市町村名	対象地域	推計 圏域人口	避難指示エリア				屋内退避エリア		備 要
			1Fを中心～10km		1Fを中心に20km 2Fを中心に10km		1Fを中心に30km		
			残留者数 名	避難所名 等	残留者数	避難所名 等	残留者数	字名 /避難所名 等	
いわき市	久ノ浜大久、川前、上小川、四倉(八堂)	1,967	/	/	/	500	対象地域全域		
田村市	旧者路村全域、旧船引町(旧向新、風呂前)急常葉町(振田)	3,718	/	0	/	1,071	対象地域全域		
南相馬市	旧鹿島区の一部を除く全域(旧小高町は20km圏内)	60,000	/	6	小高区川房、飯崎	20,000	対象地域全域	警察による要救護者等確認を実施(3/22)。自衛隊による安否確認を実施中。	
広野町	全域	5,385	/	5	上北迫、下北迫	44	対象地域全域	町内全域について、自衛隊による安否確認を実施。	
楢葉町	全域	7,851	0	17	上繁岡、井出、山田岡、北田、下小橋、大谷	0		町内全域について、自衛隊による安否確認を実施。	
富岡町	(全域20km圏内)	15,786	0	7	対象地域全域	/			
川内村	上川内、(下川内(20km圏内))	2,893	/	1	下川内	67	対象地域全域		
大熊町	(全域20km圏内)	11,186	0	1		/		自衛隊による安否確認を実施(3/19～22)。27人救援、1人避難拒否。	
双葉町	(全域20km圏内)	6,936	0	0		/			
浪江町	津島(上津島を除く)、その他は20km圏内	1,500	0	0		150	対象地域全域		
葛尾村	全域	1,485	/	0		50	対象地域全域		
飯館村	藤平、長泥	446	/	/		65	藤平、長泥		
合 計		119,153	0	37		21,947			

南相馬市のニーズに対する対応状況

て

市県両市に 平成 23 年 3 月 24 日
 確認した。 12:00 時点

	対応状況	備考
1. 病気、介護が必要な方への自主避難への支援	南相馬市を含む 6 病院の 611 名、19 施設の 994 名の合計 1,605 を移送済。 本人の希望や症状により、37 名が高野病院（広野町）に残留。	※現地 OFC 情報（3 月 23 日 8 時）
2. 一般の住民の方の自主避難への支援	集団での県外への自主避難希望者 3,000 名程度、その他自力での県内外への自主避難者に 1,500 名程度が避難済。1 万～3 万人程度が残留。今後も集団での自主避難を希望する可能性有り。（25 日に 1,000 名が草津温泉に移動予定）	※福島県情報（3 月 21 日 17 時）
3. スクリーニング体制	相双保健福祉事務所（南相馬市）に、スクリーニング拠点を設置。集団での自主避難に対しては、松川 PA 等でスクリーニングを実施した。	
4. 物資	水・食料、燃料、生活物資について配送（詳細は別紙）。 OFC が聴取した南相馬市の認識は、以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食料及び日用品は、一部不足が見られるが回りつつある。 ・ 燃料は、県全体の 600kl のガソリン軽油、灯油等の支援などにより充実が見込まれるが、現在は不足感が強い。 ・ 医薬品は不足している。 南相馬市の原町中央産婦人科、市立総合病院及び亘理内科小児科医院において、診察及び薬の処方が可能。ただし、診療科目が限定されているため、他の市町村	図中に物資の流通点をつくり、自衛隊のサポート ※南相馬市 HP 情報（23 日 16 時）

	の医療機関でも受診する必要あり。	
5. 住民に対する情報の提供	<p>県の災害対策本部で取りまとめた情報を提供するとともに、HPに掲載。</p> <p>避難に当たって説明会を開催するなど、状況提供の必要に応じて適宜開催している。また、市民への情報提供は、防災行政無線や広報車などを活用している。</p>	※現地 OFC 情報 (24 日 11 時)
6. 現地からの要望	<p>ライフラインの復旧状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道：3,600 戸断水 (復旧：14,400 戸) ・電気：一部の地域で停電 (詳細確認中) ・電話：基本的に復旧 ・道路：地震及び津波被害の大きかった国道 6 号線以東の道路を除いて、基本的に通行可能 	※現地 OFC 情報 (24 日 11 時)

~~2-1-1~~

防衛省(コ) 入浴支援施設

電気、ガス、水道は12月1日供給開始

相馬市・南相馬市に届いている物資(内閣府把握分)

#####

水・食料品

月日	届出先	品目	量	状態
3.13	南相馬市役所	即席ラーメン	7000食	到着済
3.14	南相馬市役所	飲料水	7000リットル	到着済
3.18	南相馬市役所	無洗米	7トン	到着済
3.19	南相馬市役所	ミートボール	6万個	到着済
3.19	南相馬市役所	飲料水	4万リットル	到着済

燃料(3月19日の福島県からの要望対応分を含む)

届出先	品目	量	状態
(有)立谷給油所 相馬中村SS	軽油	6万リットル	到着済
(有)立谷給油所 相馬中村SS	灯油	6万リットル	到着済
ゼネラルエナジー 南相馬鹿島SS	ガソリン	57万6千キロリットル	到着済
ゼネラルエナジー 南相馬鹿島SS	軽油	28万8千キロリットル	到着済
ゼネラルエナジー 南相馬鹿島SS	灯油	9万リットル	到着済
グループホームえくせる	灯油	100リットル	到着済
南相馬市立総合病院	灯油	900リットル	到着済
原町中央産婦人科	灯油	90リットル	到着済
福島県相馬市沖ノ内1-2-18	軽油	4000リットル	到着済
(資)若盛商店 鹿島北給油所	ガソリン	2万リットル	到着済
(資)若盛商店 鹿島北給油所	軽油	9000リットル	到着済
(資)若盛商店 鹿島北給油所	灯油	1万リットル	到着済
(有)立谷商会 相馬中村給油所	ガソリン	2万リットル	到着済
(有)立谷商会 相馬中村給油所	軽油	2万リットル	到着済
(有)立谷商会 相馬中村給油所	灯油	1万リットル	到着済
(株)相馬瓦斯 ミューズ青葉店	ガソリン	1万4千リットル	到着済
若盛商店鹿島北給油所	ガソリン	2万リットル	到着済
(有)立谷商会 相馬中村給油所	ガソリン	2万リットル	到着済
(株)相馬瓦斯 ミューズ青葉店	ガソリン	2万リットル	到着済
荒木屋	ガソリン	2万リットル	到着済

種別	総計
軽油	38万1千リットル
灯油	17万1千90リットル
ガソリン	69万リットル

生活物資

月日	届出先	品目	量	状態
3.15	相馬市役所	毛布	4500枚	到着済
3.15	南相馬市役所	毛布	500枚	到着済
3.19	アルプス電気相馬工場	棺	3000本	到着済
3.20	アルプス電気相馬工場	ドライアイス	3000人分	到着済
3.20	アルプス電気相馬工場	棺その他	2000本	一部到着
3.20	相馬東高校	不織布	5000枚	到着済

※相馬市・南相馬市に直接届いている物資に限る(県が別個に届けている可能性もあるが、その分は把握していない。)

南相馬市のニーズに対する対応状況

平成 23 年 3 月 25 日

11:00 時点

	対応状況	備考
1. 病気、介護が必要な方への自主避難への支援	南相馬市を含む 6 病院の 611 名、19 施設の 994 名の合計 1,605 を移送済。 本人の希望や症状により、37 名が高野病院（広野町）に残留。	※現地 OFC 情報（3 月 23 日 20 時）
2. 一般の住民の方の自主避難への支援	集団での県外への自主避難者 2,580 名、その他自力での県内外への自主避難者 1,500 名程度が避難済。1 万～3.2 万人程度が残留。今後も集団での自主避難を希望する可能性有り。 24 日に南相馬市民に対し、草津温泉を行き先とする 1,000 人規模の自主避難を想定して説明会を行ったが、説明会に集まった市民は 170 名にとどまった。	※福島県情報（3 月 21 日 17 時） ※福島県情報（3 月 24 日夜）
3. スクリーニング体制	相双保健福祉事務所（南相馬市）に、スクリーニング拠点を設置。集団での自主避難に対しては、松川 PA 等でスクリーニングを実施した。	
4. 物資	水・食料、燃料、生活物資についての配送は別紙。民間が圏内に入って輸送してくれないので、圏外に物流拠点を作り、自衛隊が配送。避難所用の物資は十分に届いているが、一般市民向けのものが不足しており、県においてその配布対策を検討中。 南相馬市の避難所（2 か所）に対し、水、食料（カップめん、パン等）、日用品を配送。 OFC が聴取した南相馬市の認識は、以下のとおり。	※福島県政府連絡室「主要事項の動向」（23 日 12 時） ※福島県政府連絡室「主要事項の動向」（23 日 12 時） ※現地 OFC 情報（24 日 11 時）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食料及び日用品は、一部不足が見られるが回りつつある。 ・ 燃料は、県全体の 600kl のガソリン軽油、灯油等の支援などにより充実が見込まれるが、現在は不足感が強い。 ・ 仙台製油所からドラム缶 100 本分が提供され、南相馬も含む複数の避難所のある市町村に配分され、21 日には避難所に搬入。 ・ 医薬品は不足している。 <p>南相馬市の原町中央産婦人科、市立総合病院及び亙理内科小児科医院において、診察及び薬の処方が可能。ただし、診療科目が限定されているため、他の市町村の医療機関でも受診する必要あり。</p>	<p>※南相馬市 HP 情報 (23 日 16 時)</p>
<p>5. 住民に対する情報の提供</p>	<p>県の災害対策本部で取りまとめた情報を提供するとともに、HP に掲載。避難に当たって説明会を開催するなど、情報提供の必要に応じて適宜開催している。また、市民への情報提供は、防災行政無線や広報車などを活用している。</p>	<p>※現地 OFC 情報 (24 日 11 時)</p>
<p>6. 現地からの要望</p>	<p>ライフラインの復旧状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道：3,600 戸断水 (復旧：14,400 戸) ・ 電気：一部の地域で停電 (詳細確認中) ・ 電話：基本的に復旧 ・ 道路：地震及び津波被害の大きかった国道 6 号線以東の道路を除いて、基本的に通行可能 	<p>※現地 OFC 情報 (24 日 11 時)</p>

EKC 任意のしくり程
←DFC

◆20~30km圏内の病院、特別養護施設等の自主避難状況

NO.	種別	施設名	市町村	対象者数	避難先等	避難手段	避難状況	避難者数	概要
1	病院	雲雀ヶ丘病院	南相馬市	188 [2]	栃木県立岡本台病院、他	県警バス、民間バス	避難終了	188	平成23年3月23日現在
2	病院	渡辺病院	南相馬市	50 [39]	県外	自衛隊ヘリ、消防隊等	避難終了	50	
3	病院	南相馬市立総合病院	南相馬市	99 [81]	新潟県消防学校	自衛隊バス、民間バス等	3/20避難終了	99	
4	病院	小野田病院	南相馬市	93 [69]	自治医科大学[30人] 栃木リハビリセンター体育館[31人] ケアホームやまと[16]	県警バス、民間バス、 消防救急車	3/20避難終了	93	
5	病院	大町病院	南相馬市	126 [126]	前橋赤十字病院	県警バス、民間バス	3/21避難終了	126	
6	病院	高野病院	広野町	92	埼玉県(池沢神経病院等5か所)	県警バス、民間バス	3/21避難終了	55	誘留37名(本人の希望や症状により)
		病院計		648 [317]				611	
7	養老	南相馬市高松ホーム	南相馬市	68	山形県鶴岡市		避難終了	68	
8	特養	都路まどか荘	田村市	61	こぶし荘(田村市船引町)		避難終了	61	
9	特養	長寿荘	南相馬市	59 [25]	栃木県		3/21避難開始	59	
10	特養	福寿園	南相馬市	150 [150]	横浜市		3/20までに避難終了	150	
11	特養	竹水園	南相馬市	84 [16]	福島県東北地区の施設	独自手配	3/20までに避難終了	84	
12	特養	万葉園	南相馬市	140 [25]	横浜市	独自手配	3/20までに避難終了	140	
13	特養	花ぶさだ	広野町	36 [30]	栃木県		3/20避難終了	36	
14	特養	翠梓園	いわき市	85	ゆつたり館(いわき市湯本)		避難終了	85	
15	老健	長生院	南相馬市	124 [49]	長岡市		3/21避難開始	124	
16	老健	ヨッシーランド	南相馬市	19	栃木県		3/20避難終了	19	被災施設
17	認知GH	ホームズくみの御	南相馬市	4 [5]	栃木県		3/20避難終了	4	
18	認知GH	グループホームしおの風	いわき市	9	行方不明			9	被災施設
19	認知GH	高原の家かわうち	川内村	17	ビッグパレット		避難終了	17	
20	認知GH	ヨッシーIV	南相馬市	3	栃木県		3/20避難終了	3	被災施設
21	知障児	原町学園	南相馬市	30	ワークスペースいいたて		避難終了	30	
22	知障児	原町共生授産園	南相馬市	50	ワークスペースいいたて		避難終了	50	
23	知的障害	原町学園アフターセンター	南相馬市	23	ワークスペースいいたて		避難終了	23	
24	障害GH	グループホーム原町事業所	南相馬市	20	ワークスペースいいたて		避難終了	20	
25	障害GH	なごみの里	南相馬市	12	ふれあいセンター(下郷町)		避難終了	12	
		施設計		994 [300]				994	
		合計		1,642 [617]				1,605	

[]内は震たきり内数

◆20~30km圏内の住民の自主避難状況

NO.	市町村名	希望者数	避難先等	避難手段	避難状況	避難者数	概要
1	南相馬市	2,953	3/18群馬県片品村、東吾妻町、新潟県 3/19長岡市北部・南部体育館、茨城県取手市 3/20新潟県北蒲原郡聖竜町、群馬県草津町	民間バス	3/18 1,640人避難 3/19 558人避難 3/20 382人避難	2,580	3/18から3日間実施 (ジャスト駐車場・松川PA)
2	飯館村	2,000	鹿沼市総合体育館	民間バス、自衛隊バス、 村役場バス	3/19 313人避難 3/20 198人避難	511	3/19から2日間実施 (松川PA・あつま総合運動公園)
		4,953				3,091	

平成23年3月23日現在

30KM圏内市町村災害対策本部の自主避難の意向等

H23.3.21.16.30現在
福島県災害対策本部総括班

市町村名	災害対策本部設置場所	30KM圏外(県外)への移動希望の有無	避難人数	必要なバス	避難先の目的地の有無	避難先	備考
浪江町	二本松市東和支所(30KM圏外)	現時点では無状況 況が変われば検討	無	無	有	旧東和町地区及び川俣町の公共施設 2,926人	全域20KM圏内
双葉町	さいたまアリーナ	無	無	無	有	さいたまアリーナ 1,200人	全域20KM圏内
大熊町	田村市体育館(30KM圏外)	無	無	無	有	田村市・三春町・郡山市・小野町で18か所 約2,700人	全域20KM圏内
楢葉町	いわき市中央台南小学校(30KM圏外)	無	無	無	有	いわき市内の小学校3校 533人 会津美里町 823人	全域20KM圏内
広野町	小野町町民体育館(30KM圏外)	無	無	無	有	小野町・いわき市・石川町・浅川町・平田村・埼玉県三郷市 計858人	全域30KM圏内
富岡町	ビッグパレット(30KM圏外)	無	無	無	有	ビッグパレット1,297人 滝根町・小野町・田村市・三春町・埼玉県彩戸町他 約1,200人 合計 約2,500人	全域20KM圏内
川内村	同上	無	無	無	有	ビッグパレット903人(川内村545人 その他30KM圏内市町村358人)	全域30KM圏内
南相馬市	南相馬市役所(30KM圏内)	有	一応 約5,000人程度	一応終了	一部有	施設入所者は県外へ搬送中(南相馬以外も含め20~30KM圏内1,959名)。一般住民は新島・長野・東京(杉並区)・群馬(片品村)茨城(取手市) 3/18~20 3,000人 異動希望者の搬送は3/20で終了 その他県内外に避難した市民 約1,500人	全域30KM圏内
飯館村	飯館村役場(30KM圏外)	有	一応 約540人程度	一応終了	有	栃木(鹿沼市)約540人 搬送は3/20で終了	一部30KM圏内
葛尾村	会津坂下町川西公民館	無	無	無	有	会津坂下町(川西公民館・会津少年自然の家)・福島市(あづま体育館) 計613人 (10km圏内町村の住民含む)	全域30KM圏内
田村市	田村市役所(30KM圏外)	現在の指定範囲では無 指定範囲が拡大すれば有(全市民)	無	無	無	アリーナ-東日本580人	一部30KM圏内
いわき市	いわき市消防本部(30KM圏内外)	現在の指定範囲では無	無	無	有	いわき市内郷・常磐地区 784人	一部30KM圏内

② 広域医療搬送（病院、社会福祉施設、その他の要援護者）

- 病院患者については、昨日、県外（新潟県、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、福島市）の病院に搬送済（計600人強）。
- 社会福祉施設については、本日、県外に搬送完了（受入は新潟県、栃木県）（本日分60人、計800人程度）。
- その他の要援護者については、現在状況を把握中。
※人数は今後の整理に伴い変動し得る。

③ 屋内避難者（健常者）

- 希望のあった南相馬市2,580名、飯舘村511名は3/20までに避難終了。
- 現在、県においても把握中（約3万2千人程度（市町村の推計を県が集計））。

④ その他

○福島県災害対策本部（住民避難・安全班）から「圏外避難についての考え方」の情報提供を受けた（3月22日）。

概要：本県から他都道府県に避難した県民（30km圏内居住者）についての対応として、本県への帰還の意向の確認、本県への帰還を希望する県民についての対応、及び避難した他都道府県において定住を希望する県民についての対応における他都道府県への要請等。

○南相馬市においては、電気・ガス・水道はほぼ供給。物資は民間が圏内に入って輸送してくれないので、圏外に物流拠点をつくり、自衛隊が輸送。避難所用の物資は十分に届いているが、一般市民向けのものが不足しており、県においてその配布対策を検討中。

「住民避難に当たって（案）」について（メモ）

平成 23 年 3 月 25 日 2:35

原子力災害対策本部事務局（住民安全班）

3月24日（木）深夜、OFC 住民安全班長の高田課長に、「住民避難に当たって（案）」の各項目について、福島県庁での対応状況につき高田課長の考えを聞いたところ、正確を期すために個別の項目について福島県の担当部署に確認する必要があるが、自分（高田課長）の認識は以下のとおりとのこと。

- 優先順位は別にして、避難対象地域の特定は既にやっていると思う。
- 自宅に居住する者については、南相馬ではローラー作戦を実施中で近々南相馬の人数が確定すると思う。自宅居住者で自家用車を持っている者がどれぐらいいるかは、ローラー作戦では分からないかもしれないが、南相馬以外の対象住民は、普段でも自家用車がないと生活が困難な山間部に住んでいる者がほとんどなので、基本的に自家用車を持っていると思う。持っていなければ買い出しにもいけないはず。
- 病院等の避難要支援者の避難については、高野病院以外は完了。（高野病院の入院患者についても、対策が採られつつあるとの情報あり。）
- 避難所に避難している者については、30km 圏内は南相馬の4カ所の避難所のみであり、人数は合計で175名。
- 受入先施設のうち、福島県内については、4、5日前までは結構いっぱいだったが、今は福島県から2万5千人が県外に避難しており、県内の避難所には空きが出始めている。福島県外の実地の施設については、1～2万人分は空きがあるはず。
- 移動手段のうち、自家用車については、ガソリンは、今週を目途にやっており、今はだいぶガソリンスタンドに入り始めている。
- 民間車両と運転手、自衛隊、警察等の車両及び運転手については、まさに国にお願いしないとイケないと思っている。民間は20～30km 圏に

入りたがらないので、スクリーニング場所までの移動をお願いするとともに、スクリーニング後の受入先施設までの移動（民間車両）をお願いすることになると思う。なお、国交省から福島県に対し、バス協会のバスの手配に関しては、福島県とバス協会が直接やりとりをするよう言われており、バス協会以外のバスについては、福島県が国交省に頼むことになっている。

- 避難先での対応者については、福島県内か県外にかかわらず、知事の指示で、避難先毎に県の職員を2名ずつ出して避難者の声を直接聞くようにしている。もし20～30km圏の避難指示になったとしても、福島県は同様に体制を構築することになるだろう。なお、南相馬のように市町村独自でやっている避難先でどうなっているかは知らない。
- 避難先での物資については、県内県外とも、物資はほぼ十分であると認識しており、特に県外の施設については、物流の問題はないはずである。南相馬からの避難者が県外に行っても物資はたぶん大丈夫ではないか。
- 安定ヨウ素剤については、備蓄が80万人分ぐらいあるので大丈夫だろう。
- スクリーニングについては、これまでの実績で1日で最大1万数千人実施しており、20～30km圏の避難が行われたとしても、対応可能と思われる。
- 広報については、南相馬は何度も自主避難を呼び掛けたが現在の人数が残っている。今日は1000人の自主避難を想定して説明会を開いたが来たのは僅か170名だった。そうしたことから、自主避難の希望が増加している状況ではないというのが福島県庁側の認識。
- 南相馬以外についても、各自治体は、「避難しませんか」と呼び掛けを行い、残る場合の注意事項も伝えていと聞いている。（当方より、残る場合の注意事項の紙の例があれば入手してほしい旨依頼し、先方了解。）

以上

消防庁
NO. 2625

消防庁 (官邸リエゾン)

送受信日時	23年3月25日 8時32分
件名	避難者数の推移
発信元	(<input type="checkbox"/> 次長、 <input checked="" type="checkbox"/> 消防庁、 <input type="checkbox"/> オペ総、 <input type="checkbox"/> 他省庁)
優先度	<input type="checkbox"/> 大至急(切時間: 時 分まで) <input type="checkbox"/> 至急(切時間: 時 分まで) <input type="checkbox"/> 伝達事項
内容	経済省 住民安全班 担当者様 (本紙/紙 全40-311)

1

消防庁
番号 2625

R:887 P:02

消防官邸G→リエゾン3校
FAX済 8時22分

1459

宮城県、岩手県及び福島県の避難者数の推移(比較)

	3月16日 (夕方) (a)	3月17日 (夕方)	3月18日 (夕方)	3月19日 (夕方)	3月20日 (夕方)	3月21日 (夕方)	3月22日 (夕方)	3月23日 (夕方)	3月24日 (夕方) (b)	増減数 (b)-(a)	増減率 $(b)/(a) \times 100 - 100$
宮城県	236,577	222,361	210,500	154,774	148,556	113,029	110,913	100,450	90,325	△ 146,252	△ 61.8 %
岩手県	48,439	48,413	49,454	45,031	47,443	45,687	44,426	44,271	42,837	△ 5,602	△ 11.6 %
福島県	135,452	124,357	118,928	115,680	110,067	83,949	83,165	85,148	87,106	△ 48,346	△ 35.7 %

(注) 各県災害対策本部調べ

宮城県内市町村別避難者数の推移

	3月16日 (夕方) (a)	3月17日 (夕方)	3月18日 (夕方)	3月19日 (夕方)	3月20日 (夕方)	3月21日 (夕方)	3月22日 (夕方)	3月23日 (夕方)	3月24日 (夕方) (b)	増減数 (b)-(a)	増減率 (b)/(a)×100-100
仙台市	70,487	70,467	70,487	20,176	20,176	11,420	11,420	7,883	7,883	△ 63,084 ①	△ 89.5%
石巻市	43,647	43,647	40,687	39,219	39,219	31,128	31,128	29,200	29,200	△ 15,046 ②	△ 34.5%
塩釜市	8,236	5,079	5,079	5,079	5,079	5,079	5,079	5,079	5,079	△ 7,121 ⑤	△ 86.5%
気仙沼市	19,085	19,021	19,021	19,021	19,877	17,154	15,840	15,058	15,058	△ 4,082	△ 21.4%
白石市	882	649	643	366	374	374	374	374	374	△ 508	△ 57.6%
名取市	8,329	4,884	3,898	3,886	2,720	2,720	2,720	2,319	2,319	△ 6,010	△ 72.2%
角田市	272	302	225	211	208	184	184	165	155	△ 117	△ 43.0%
多賀城市	10,902	10,902	10,902	10,902	10,902	5,980	5,980	4,062	3,609	△ 7,283 ④	△ 66.8%
岩沼市	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	1,555	1,425	1,001	1,001	△ 4,299	△ 81.1%
登米市	4,800	4,800	4,800	1,451	992	629	829	707	704	△ 4,096	△ 85.3%
栗原市	2,136	929	169	103	62	29	29	24	18	△ 2,118	△ 99.2%
東松島市	13,712	13,712	14,110	14,829	14,829	13,764	13,589	13,589	13,589	△ 4,004	△ 29.2%
大崎市	9,870	9,870	3,303	3,303	1,606	616	616	538	335	△ 9,315 ③	△ 96.3%
蔵王町	119	118	42	42	42	29	29	29	29	△ 80	△ 75.5%
七ヶ宿町	49	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 49	△ 100.0% ①
大河原町	394	50	75	79	69	63	60	54	54	△ 940	△ 94.6%
村田町	185	185	185	185	18	15	15	15	15	△ 170	△ 91.9%
柴田町	880	187	42	34	35	34	34	22	33	△ 847	△ 96.3%
川崎町	138	138	33	8	8	0	0	0	0	△ 138	△ 100.0% ①
丸森町	321	13	5	1	1	1	1	0	0	△ 321	△ 100.0% ①
亘理町	5,420	4,582	4,582	3,770	3,440	2,850	2,800	2,761	2,761	△ 2,709	△ 50.0%
山元町	5,936	3,712	3,931	3,811	3,811	3,757	3,760	3,550	3,550	△ 2,486	△ 41.8%
松島町	1,800	1,900	1,900	1,900	1,900	249	249	249	249	△ 1,651	△ 86.9%
七ヶ浜町	3,871	3,871	3,871	3,871	1,731	1,082	1,403	1,363	1,287	△ 2,584	△ 66.8%
利府町	618	205	194	89	89	89	89	89	89	△ 529	△ 85.6%
大和町	73	14	13	7	0	0	0	0	0	△ 73	△ 100.0% ①
大槌町	185	45	46	7	7	12	18	6	6	△ 180	△ 97.3%
宮谷町	895	652	652	362	350	218	216	216	216	△ 679	△ 76.2%
大石村	82	92	0	0	0	0	0	0	0	△ 92	△ 100.0% ①
色麻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
加美町	258	256	25	25	22	22	22	7	7	△ 249	△ 97.3%
涌谷町	523	511	421	415	234	62	62	44	38	△ 485	△ 92.7%
美里町	1,884	1,292	1,076	1,076	254	182	182	72	72	△ 1,612	△ 95.7%
女川町	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	3,821	3,202	3,202	2,364	△ 2,916	△ 53.0%
南三陸町	9,700	9,700	9,700	9,746	9,713	9,753	9,584	9,325	8,389	△ 331	△ 3.4%
合計	236,577	222,361	210,500	154,774	148,595	112,029	110,813	100,450	90,326	△ 146,252	△ 61.8%

(宮城県災害対策本部事務局資料より作成)

※避難者数は、当該市町村内に避難している避難者の数であり、臨時市町村区域外(海外を含む。)に避難している数を含まない。
※丸数字は減少数又は減少率が大きい市町村の上位5団体の順位を示すものである。

→ 減少数又は減少率が大きい市町村からの聞き取りによれば、避難者減少の主な理由は、ライフラインの復旧に伴い、自宅に戻った者が多数に上ることによるとのこと。

○被災地からの避難者受け入れ人数調査(都道府県集計)

未定稿

平成23年3月24日19時00分現在

避難先都道府県	避難者数				
	計	被災地別の内訳			
		岩手県	宮城県	福島県	その他-不明
北海道	239人		3人	40人	196人
青森県	136人	4人	38人	94人	
岩手県	59人		5人	54人	
秋田県	1,121人	26人	179人	916人	
山形県	3,630人		62人	3,568人	
茨城県	1,722人			1,722人	
栃木県	2,734人			2,734人	
群馬県	3,255人			3,255人	
埼玉県	3,414人			3,414人	
千葉県	800人			800人	
東京都	1,088人			1,088人	
神奈川県	668人			315人	353人
新潟県	7,519人			7,519人	
富山県	587人	3人	10人	421人	133人
石川県	221人				221人
福井県	340人		25人	310人	5人
山梨県	427人		55人	368人	4人
長野県	370人			367人	3人
岐阜県	279人		22人	253人	4人
静岡県	326人		2人	195人	129人
愛知県	66人		3人	9人	54人
三重県	95人			83人	12人
滋賀県	131人			120人	11人
京都府	279人		9人	68人	202人
大阪府	6人			5人	1人
兵庫県	225人	3人	38人	159人	25人
奈良県	人				
和歌山県	28人		11人	17人	
鳥取県	0人				
島根県	不明				
岡山県	50人		15人	35人	
広島県	83人		5人	78人	
山口県	32人			32人	
徳島県	人				
香川県	12人			12人	
愛媛県	19人			12人	7人
高知県	29人		2人	27人	
福岡県	156人	2人	4人	147人	3人
佐賀県	12人		2人	4人	6人
長崎県	30人			30人	
熊本県	7人		5人	2人	
大分県	21人			21人	
宮崎県	16人	4人	4人	8人	
鹿児島県	32人	人	2人	30人	
沖縄県	不明				
合計	30,244人	42人	501人	28,332人	1,369人

4/4

=90605-/-

=22902-

住民避難に当たって

平成23年3月25日

原子力災害対策現地本部事務局

1 避難対象地域の特定

・避難作業の優先順位

20～30km圏内(屋内退避)の残留者数については、南相馬市30,000人(最大で想定される人数、15,000～20,000人程度とも言われている)、田村市700人、いわき市500人、飯舘村178人、浪江町150人、川内村45人、広野町44人、葛尾村20人となっており、最大で32,000人程度となっている。

いずれの市町村においても、当圏域内の住民に対しては、避難誘導を行っており、残留者については、そうした避難誘導を受け入れなかった住民であることから、地域を離れたくない、避難所生活には耐えられない、生活の基盤があるなど、何らかの理由で地域に残ることを希望した人である。

また、当圏域においては、食料品や日用品、燃料などの購入が困難であることから、多くが車を所有し、自力での避難が可能であると考えられる。

なお、当圏域内で最も人口が多い南相馬市においては、残留者数等の実態を把握するための確認作業(全戸訪問)が行われている。

2 避難対象地域の住民の特定(人数、場所、特別な対応の要否(介助等))

- ・自宅に居住する者
- ・病院、老人ホーム等の避難要支援者
- ・避難所に避難している者
- ・避難作業の優先順位

病院等の避難要支援者については、広野町高野病院37名を除いて避難が終了している。また、在宅での避難要支援者も広野町の4人を始め、少なからず残留していると考えられるが、避難の拒否も想定される。

避難所に避難しているものについては、南相馬市の4つの避難所に175人である(当圏域内には2つであるが、市役所機能も移転することを考慮し、市内の全避難所を対象とする。)

前記以外は、基本的に自宅に居住するものであり、避難に当たっては、自力避難や避難拒否などについて、確認する必要がある。

3 受入先施設の確保、受入調整

- ・福島県内の施設

・福島県外の施設

福島県内の施設については、県内から県外への避難者の移動に伴って、ある程度の余裕が生まれており、また、県外の施設についても多くの都道府県から受入表明があることから、緊急避難的な受入であれば、最大で想定されている32,000人程度の規模の避難先は確保できると考えられる。

4 移動手段の確保

・自家用車(ガソリン配給の必要性要確認)

・民間の車両、運転手

・自衛隊、警察等の車両、運転手

ガソリンの確保については、一定程度進んでいることから、自家用車による避難においても、大きな支障になるとは考えられないが、必要に応じて国の支援をお願いしたい。

バス協会傘下のバス事業者については、国と県との協定により、県で手配することができるが、30km圏内に入る必要があることから、特に、圏域内からスクリーニングの場所までの移動については、自衛隊、警察等の車両、運転手の確保をお願いしたい。

5 避難誘導者の確保(避難完了の確認を含む。)

・自治体

・警察、消防、自衛隊等

避難誘導に当たっては、市町村等の対応が基本となるが、警察、消防等の協力をお願いしたい。

6 避難先での対応者(避難者に応じ医療関係者等を含む。)の確保

・福島県内の施設

・福島県外の施設

県内の施設においては、県や対象市町村等での対応が可能と考えられる。また、県外施設についても、避難先の自治体の協力を得ながら、県や対象市町村等で対応することとしたい。

7 避難先での物資(水、食料、燃料、医療、毛布等)の確保

・福島県内の施設

・福島県外の施設

県内外の避難先での施設において、物資を確保できると考えられるが、必要に応じて国へ支援をお願いしたい。

8 原子力災害特有の事項

- ・安定ヨウ素剤の対象住民への配布及び必要に応じた医療関係者の指導
- ・避難の移動にかかるスクリーニング及び除染の実施

安定ヨウ素剤については、圏域内の対象住民へ配布できる量が確保されている。また、医療関係者の指導も対応可能と考えられるが、必要に応じて国の支援をお願いしたい。

スクリーニング及び除染の実施に当たっても、必要な体制の整備が可能と考えられる。

9 広報

- ・避難対象となったことや避難に際しての注意事項等を対象住民へ
- 圏域内のいずれの市町村においても、すでに避難誘導を経験しており、避難対象者への周知や注意事項等の伝達については、比較的スムーズに実施できると考えられる。

ERC 仕等処理 不内 ← ofc 知

避難指示及び屋内退避区域内の残留者数について

平成23年3月24日現在

市町村名	避難指示エリア			屋内退避エリア		摘 要	
	1Fを中心に～10km		1Fを中心に20km 2Fを中心に10km		1Fを中心に30km		
	残留者数	字名／避難所名等	残留者数	字名／避難所名等	残留者数		字名／避難所名等
いわき市					500	対象地域全域	
田村市			0		700	対象地域全域	
南相馬市			6	小高区川房、飯崎	30,000	対象地域全域	警察による要救護者等確認を実施(3/22)。自衛隊による安否確認を実施中。
広野町			5	上北迫、下北迫	44	対象地域全域	町内全域について、自衛隊による安否確認を実施。
楢葉町	0		11	上繁岡、井出、山田岡、北田、下小埜、大谷	0		町内全域について、自衛隊による安否確認を実施中。
富岡町	0		7	対象地域全域			
川内村			1	下川内	45	対象地域全域	
大熊町	0		1				自衛隊による安否確認を実施(3/19～22)。27人救護、1人避難拒否。
双葉町	0		0				
浪江町	0		0		150	対象地域全域	
葛尾村			0		20	対象地域全域	
飯館村					178	藤平、長泥	
合 計	0		31		31,637		